会報　NO.2459
2020年9月3日発行

箕面ロータリークラブ
2020-21
WEEKLY BULLETIN

2020-21年度　国際ロータリー会長　ホルガー・クナーク
国際ロータリー第2660地区2020-21年度ガバナー　簡　仁一

【2020-21年度】　会長 河野優作　　幹事 前田建司　　広報・会報委員長 山本貴雄

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町1-1 箕面観光ホテル　　Tel:072-724-2781　　fax:072-724-1786
e-mail:mino-orc@abeam.ocn.ne.jp　　HP:http://mino-orc.net/　　例会日：毎週木曜日　18:30～

◆今週の例会プログラム◆
2020年9月3日(木)　第2453回例会
卓話　『ロータリー雑観
云うてええけど　云うたらあかん』
青　敬祐　会員

◆次回の例会プログラム◆
2020年9月17日(木)　第2454回例会

卓話：　川端　崇且　会員

◆前回例会◆
２０２０年８月６日（第２４５２回例会）
♪ロータリーソング　「奉仕の理想」

【出席報告】
会員数　２７名　　出席者　１９名
出席率　７６％

◆会長挨拶◆　　河野　優作

新聞報道等でご存じの方も多くおられると思いますがポリオの活動におきまして大きな成果がありましたのでお伝えしたいと思います。

8月25日にWHOアフリカ地域の野生型ポリオウイルス根絶が正式に認定されました。この認定は、アフリカ最後のポリオ常在国であるナイジェリアで野生型ポリオの症例が最後に記録されてから4年が経過した後に行われるものです。

この画期的な出来事はロータリー会員、アフリカ地域、数百万人の保健ワーカー及び世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体にとって公共保健分野における目覚しい達成であり、世界でのポリオ根絶に向けた前進の大きな一歩となるものです。

アフリカ地域から野生型ポリオをなくす取組において、ロータリー会員は計り知れない役割を果たしてきました。過去20年の間、ポリオ根絶の活動資金を集め各国政府やリーダーに支援を呼びかけ、世界ポリオデーにイベントや募金を実施し認識を高めることでアフリカ地域と世界中のロータリアンはポリオとの闘いにおいて確かなインパクトを残してきました。世界のほぼすべての国において野生型ポリオウイルスを根絶してきたことを私たちは誇りとすべきです。

またこのような活動は新型コロナウイルスと単純な比較はできないものの、感染動向の把握は新型コロナウイルスに教訓が生かされているようです。ポリオは数百人が感染してまひの症状がでるのは一人という病気で、隠れた感染者を探すことが重要であります。新型コロナウイルスも無症状感染者がとても多い病気で、隠れた　感染者を探すという点でも同じようなことが多い為、ここでもポリオ撲滅の活動が役立っているとのこです。

以上のことから会員の皆様におかれましては、このようなことを発信、水平展開して頂きまして多くの皆様にロータリークラブの活動を知ってもらうことに利用して頂けたらと思いますし、例年と同じようにご寄付へのご理解とご協力をお願いします。

朝、晩には少しだけ秋の気配を感じられる日もありますが、まだまだ日中は厳しい暑さに加えコロナの感染予防もありますので皆様におかれましては体調の管理にはくれぐれもお気をつけてお過ごし下さい。

4つのテスト　言行はこれに照らしてから
1 真実かどうか　2 みんなに公平か　3 好意と友情を深めるか　4 みんなのためになるかどうか

◆幹事報告◆　　前田　建司

・例会開催についてのアンケートについて
・第６３回市民展は中止
・９月の例会
　９月　３日　青　会員卓話
　　１７日　川端会員卓話
　コロナ禍の中での例会開催となります。状況が変わる事があれば随時連絡いたします。

◆第 5 回理事役員会報告◆

・例会開催についてのアンケートについて
・FM まちそだて(株)後援名義使用申請について
　　→承認

◆ＳＡＡ報告◆　　（代理）庄司　修二

ニコニコ

河野優作会員：簡ガバナー、ようこそ
前田建司会員：簡ガバナー、本日はご訪問誠にありがとうございます。
黄堂泰昌会員：簡ガバナー、ようこそ！
芝野弘三郎会員：簡ガバナー。ようこそ！！
浦　　収会員：ガバナーようこそ！
人羅一磨様：遅れましたが、次男誕生しました。本日寝返りをうったようです（約４ヶ月）
片山秀樹会員：簡ガバナー、ようこそ！
高橋太朗会員、木村知也会員、林たかみ会員、木村貞基会員

米山奨学会

岡内重信会員：・簡ガバナー、土方様、岩上様、ようこそ箕面 RC へ。
　　・上島会員、お目出とうございます。
上島一彦会員：簡ガバナー様、ありがとうございます
黄堂泰昌会員、前田建司会員、浦収会員、河野優作会員、木村知也会員、芝野弘三郎会員、木村貞基会員

ロータリー財団

川端崇且会員：簡ガバナー、ようこそ
片山秀樹会員、木村知也会員、前田建司会員、浦収会員、河野優作会員、木村貞基会員、芝野弘三郎会員、黄堂泰昌会員、岡内重信会員

ポリオ基金

芝野弘三郎会員
片山秀樹会員
木村知也会員

◆地区大会ＰＲ◆

地区幹事　岩上高幸様(茨木ＲＣ)

地区幹事の岩上と、地区副代表幹事の土方と申します。貴重な例会の時間を拝借し、今年の地区大会のＰＲをさせて頂きます。

今年度の地区大会は、2 年あまり前から、おもいきり楽しい地区大会にしようと企画してきました。しかし新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大幅な縮小を強いられています。今のところ 12 月 11 日、12 日にグランキューブ大阪(国際会議場)で開催予定となっております。今回の地区大会では、基本に戻って、最小限の費用で、ロータリアンのために実行したいと考えております。“ｗｉｔｈコロナ”の時代ならではの、初の試みとして、地区のホームページからライブ中継でご覧頂けますように準備をしております。会場に来られない方も映像を通して、第 2660 地区のロータリアン全員が地区大会に参加して頂ければ、と思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◆卓話◆

国際ロータリー第 2660 地区ガバナー　簡　仁一様

箕面ロータリークラブの皆様、2020-21 年度 RI2660 地区ガバナーを務めさせて頂きます、茨木ロータリークラブの簡　仁一です。よろしくお願いいたします。新型コロナウィルス感染拡大を受けて、ロータリー活動にも大きな影響が出てきました。このような厳しい状況の下で、河野会長、前田幹事を始めとする、箕面 RC の役員の皆様には、今年度の準備に力を尽くして下さり、心よりお礼申し上げます。また西宮会員とは 2014-15 年度同期のガバナー補佐として大変お世話になりました。今年度、山本会員がローターアクト委員会へ出向して頂き、地区の運営を支えて頂いております。ロータリー活動に取り組む中で、私たちは当たり前のように集まって語り合ってきました。それが特別なことだとは思いもしませんでした。けれど、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、物理的な距離を取らなくてはならなくなりました。例会も奉仕活動も、ことごとく中止になり、顔を合わせる機会も制限されてしまいました。人と人が切り離されることを余儀なくされる今こそ、ロータリーの原点である親睦に目を向けたいと思っております。そして、志を共にする仲間通しの連帯感を味方に、心と心の繋がりを大切にしたいと思っています。困難な時こそ絆が深まります。先行きは見えませんが、知恵を出し合い、工夫してロータリー活動を続けていきましょう。ロータリアン同士、支え合い励まし合って前向きに進んでいきましょう。

ホルガー・クナークRI会長テーマ
「Rotary Opens Opportunities」～ロータリーは機会の扉を開く～

クナーク会長は、このテーマについて、ロータリーがクラブに入会するというだけではなく、「無限の機会への招待である」という思いを込めた、と語っておられます。

「奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーである」と力説され、「ロータリーは、リーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる」とも述べられました。

そのうえで、「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」と強調されました。

このRI会長のテーマに基づき、2020-21年度第2660地区の年次目標を6項目掲げました。

1. 会員基盤の強化

年代、職業、男女の別いずれにおいても、多様な会員を受け入れる柔軟性と、ロータリーの基本的な価値観を再認識し、クラブのあり方を方向づける「クラブビジョン」を作成しましょう。問題意識を共有し、会員の退会を防ぐ姿勢を、だれもが持ち続ける必要があります。

2. ポリオの根絶

現在、ポリオウイルス株の2型、3型は根絶され、あとは１型だけです。また、ポリオの常在国は、アフガニスタンとパキスタンの2か国だけとなりました。ナイジェリアは発症例が3年間報告されておらず、今年中に根絶の宣言がされるでしょう。ポリオの発症がどこかで起きている限り、感染の危険は世界中の子どもに及ぶことになります。世界中で根絶されるまで活動を続けていきましょう。

3. 青少年の活動を支援

未来を担う若い世代を支援し、リーダーを育てることは、ロータリアンの使命です。当地区は、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラ、米山奨学生、ロータリー学友などの青少年プログラムに積極的に取り組んでいます。ロータリアンと青少年がともに活動できる奉仕の機会を、さらに作っていきましょう。

4. ロータリー財団活動の推進

ロータリー財団は、ロータリーの奉仕プロジェクトを支える柱です。年次基金は、3年後の奉仕活動の資源となり、恒久基金は将来のロータリー活動を担保し、ポリオ基金はウイルスとの闘いの象徴です。ご理解いただき、ご協力をよろしくお願いします。

5. 米山記念奨学会活動の推進

日本と海外との懸け橋となる米山奨学生の支援をお願いします。4月から継続を含めて、49名の米山奨学生が、皆さんのクラブでお世話になっております。未来を担う若い力を応援してください。

6. IT化の推進と公共イメージの向上

IT化は避けては通れません。My Rotaryの登録、クラブセントラルの活用をぜひ、よろしくお願いします。ロータリーについて知ってもらうための一番の広告塔は、ロータリアン自身です。会員以外の人にも、ロータリーに親しんでもらう機会をつくっていきましょう。

私は、地区スローガンを決定するにあたって、3つのことを考えました。

①　基本の再認識を

ロータリーは変わったのか、という声をよく耳にしますが、私はそうは思いません。2019年-20年度の新しい標準ロータリークラブ定款は、表現が多少異なっているとはいえ、基本となる考え方は従来と同じです。それは、すなわち、四つのテスト、超我の奉仕、中核的価値観といったロータリーの価値観です。

そして、ロータリーは、こうした価値観を共有する人たちの集まりであり、だからこそ、確かな信頼関係が築かれているのです。今こそ、ロータリーの基本を再認識しましょう。

②　誇りと自信を持って

ロータリーで、私は、多くの尊敬できる先輩の皆さん、多くの信頼できる友人を得ることができました。一人ではなかなかできない奉仕活動に取り組むことができ、その活動を通して、大きな感動を得ることもできました。

こうした素晴らしい集まりの会員であることに改めて意識を向け、ロータリアンとしての誇りと自信を、皆さんに持っていただきたいと思います。

③　未来をつくる

時代に対応する多様性、柔軟性、適応力がなければ、ロータリーの未来を創っていくことはできません。例えば、SF映画のように、過去に戻って、今を変えることはできないのです。

しかし、未来は、私たちの手の中にあります。私たちが、未来をつくっていくことができるのです。

私は、こう呼びかけたいと思います。

ロータリーの基本を再認識してください。
ロータリアンとしての誇りと自信を持ってください。
そして、一緒にロータリーの未来をつくっていきましょう。

そこで、地区スローガンは

「Back to the Basics and Fly to the Future」
（ロータリーの基本に戻って、新しい未来へ）
の意味を込めて

BACK, To the FUTURE
～基本に戻って、未来へ～

とさせていただきました。

これから一年間、クラブの皆さまとともに、基本を見つめ直して考え、歩んでまいりたいと思っております。先行きの見えない中、箕面RCの皆様のなお一層のご支援、ご協力をお願いいたしまして、本日の卓話とさせて頂きます。